

鳥取うみなみロード整備計画（案）の概要

- 1 策定趣旨 ナショナルサイクルルート（NCR）の次期指定を目指すに当たり、鳥取うみなみロードのNCR指定要件クリアに向けた目標や取組内容を関係機関と共有し、推進する。
- 2 期 間 令和6年度（2024年度）までとする。
- 3 対 象 「鳥取うみなみロード」とする。
- 4 主な内容

（1）走行環境整備

「迷わず安心、安全に走行できる環境が整備されている」といった考え方にに基づき設定された走行環境に関するNCR指定要件クリアに向けた取組方針・基準を定める。

NCR指定要件に基づく整備基本方針

- 「①誰もが安全・快適に走行できる環境整備」・「②誰もが迷わず安心して走行できる環境整備」を目標として、走行環境の整備基本方針を次のとおり定める。
- ・自転車通行空間確保のため、矢羽根の設置を行うとともに、トンネルや橋梁部などの危険箇所においては注意喚起看板、路面表示を設置する。
 - ・ルート全線に自転車ピクトを付した経路及び距離に関する路面表示、案内看板を設置する。
 - ・原則、「安心で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（平成28年7月、国土交通省・警察庁）の基準を適用して設計・整備する。

〔①誰もが安全・快適に走行できる環境の整備〕

矢羽根・ピクトグラムの整備基準

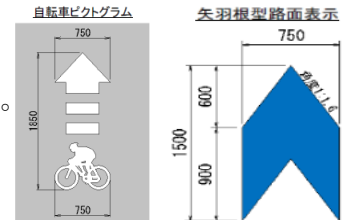
- ・自転車の通行空間確保を図るため、サイクリストとドライバーの双方に自転車通行位置を示す矢羽根及びピクトグラムを整備する。
- ・矢羽根及び自転車ピクトグラムの標準仕様のほか設置場所、設置間隔等を定める。

（設置場所）

- ・ルートの連続性確保のため、NCR指定要件上、設置が必須ではない区間も含め全線に整備（自転車歩行者用道路を除く）。

（設置間隔）※矢羽根の場合

- ・郊外部：100m、都市部：10m、生活道路等：30m
- ・交差点部：5m



危険箇所における整備基準

- ・トンネルや橋梁部等の危険箇所については、サイクリスト向けの路面表示を主として、必要に応じてドライバー向けの看板を設置する。
- ・各標示について、サイズや高さ、色などの仕様を定める。

（例）文字の色

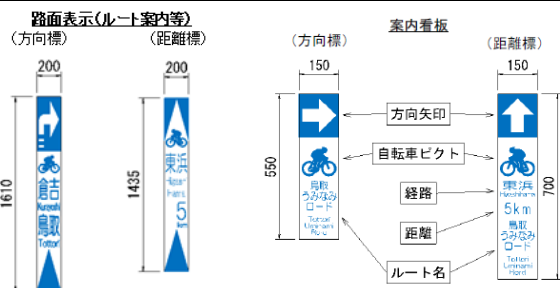
- サイクリスト向けは白地に赤字表記
- ドライバー向けは黄地に黒字表記 など



〔②誰もが迷わず安心して走行できる環境の整備〕

ルート案内整備基準




- ・路面表示及び案内看板の標準的な仕様を定める。
- ・路面表示を主として、案内看板は路面表示の補助として設置する。
- ・単路部は概ね5kmごと、分岐部では必要箇所すべてに設置する。




(2) 受入環境整備

「サイクリストのニーズに対応したサポートが充実している」といった考え方にに基づき設定された受入環境整備等に関するNCR指定要件クリアに向けた目標と取組方針を定める。


[受入環境 (必須項目)]

ゲートウェイ (現状:未整備)	
令和5年度末までの整備目標： <u>1箇所以上開設</u> ・交通結節点（空港や駅）や既存のコグステーション、観光拠点などにおいてゲートウェイ整備を進める。	
サイクルステーション (現状:未整備)	
令和5年度末までの整備目標： <u>概ね20キロごとに整備</u> ・サイクルカフェ・ポートの活用、その他文化・観光施設等も加え、サイクリストが休憩できる施設（サイクルステーション）の拡充を図る。	
宿泊施設 (現状:整備済)	
令和5年度末までの整備目標： <u>より一層の充実を図る</u> ・施設のない空白地域の宿泊施設への働きかけとともに、既に認定している事業者へサービスの拡充に向けた働きかけを行う。	
緊急時サポート (現状:整備済)	
令和5年度末までの整備目標： <u>より一層の充実を図る</u> ・故障修理等の対応可能店舗など、緊急時サポートの充実に向けた情報の発信を行う。	

[受入環境 (推奨項目)]

運搬可能な環境 (現状:整備済)	
令和5年度末までの整備目標： <u>サイクルトレインやサイクルバス等の導入に向けて検討を進める</u> ・ラック掲載UDタクシーによる自転車運搬可能な環境整備済ではあるが、公共交通機関を活用した更なる代替交通手段の導入検討を進めていく。	<small>UDタクシーの車内に自転車を掲載できます</small>
地域貢献に寄与する体制 (現状:整備済)	
令和5年度末までの整備目標： <u>ツアーコース造成とその紹介、ライドイベントの開催</u> ・サイクリングガイド養成講座を継続的に実施するとともに、ガイドが造成したツアーコースの魅力発信を行う。また、ライドイベントの開催や持続的な開催手法等についての検討を進める。	
トラブル対応 (現状:一部整備済[自転車補修販売店の情報が未提供])	
令和5年度末までの整備目標： <u>トラブル対応に関する情報の充実を図る</u> ・自転車の故障修理等の対応が可能な事業者一覧など、トラブル時に必要な情報の充実を図る。	

[情報発信 (必須項目)]

情報発信 (現状:一部整備済[HP・マップの多言語化が未対応])	
令和5年度末までの整備目標： <u>ホームページの多言語化、ルートマップの作成</u> ・SNS発信の強化及びホームページの充実を図るとともに、インバウンド誘客に向けて多言語化（英語）を行う。 ・鳥取うみなみロードに特化したルートマップを作成する。	

[取組体制 (必須項目)]

取組体制 (現状:整備済)	
・鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議やワーキンググループ、タスクフォースなどにより官民が連携して議論を進めていく。 ・「鳥取県自転車活用推進アクションプログラム」において、サイクル関連施策のより一層の充実を示すとともに、ルート沿線市町村への自転車活用推進計画策定の働きかけを行う。	